

【お問い合わせ先】
町まちづくり推進課
(担当・伊藤)
☎ 32-6701

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは「持続可能な開発目標:Sustainable Development Goals」の略称で、2015年の国連サミットで採択された「2030年までの世界共通の目標」です。

17のゴール(目標)と169のターゲット(より具体的な目標)で構成されており、「誰ひとり取り残さない」という理念に基づいた取り組みが世界で広がっています。



SDGsで目指す福井の姿

福井県が策定した「福井県長期ビジョン」では、SDGsの理念に沿いながら「2040年に目指す姿」として次の3つを掲げています。

- 自信と誇りのふくい
- 誰もが主役のふくい
- 飛躍するふくい

県では、この長期ビジョンの実現に向けた官民連携プラットフォームとして「福井県SDGsパートナーシップ会議」を創設するとともに、参画する企業や団体、自治体等の多様な主体を「ふくいSDGsパートナー」として募集・登録しています。



↑福井県長期ビジョン

パートナーシップ会議及びパートナーの活動コンセプト・テーマ

活動コンセプト 未来のために。～次の世代に選ばれる福井へ～

未来を担う次世代(子ども、若者、子育て世代)に福井の良さを継承し、希望を持って自分らしくチャレンジできる社会をつくる。

活動テーマ

- 1 次世代を育てる(福井を愛する子どもの育成)
- 2 次世代を応援する(若者のチャレンジ応援)
- 3 次世代の社会をつくる(共生・共助社会の実現)
- 4 次世代に引き継ぐ(暮らしと風景の維持・継承)



SDGsの達成に向けた美浜町の宣言

- ① 郷土を知るための「ふるさと教育」やエネルギー・環境問題に対して正しい知識を身に付けるエネルギー環境教育を推進します。
- ② 若者の力による地域の活性化や地域の課題解決に向けた活動を支援します。
- ③ 誰もが安心して生活できるよう地域で支えあう環境づくりを推進します。
- ④ 美しい浜や湖等を維持するため、里山里海湖をはじめとした自然環境の保全に努めます。
- ⑤ 住んでいる人が幸せで住みたいと思える「地域愛」に溢れた集落づくりを支援します。



ふくいSDGsパートナーとしての宣言

町では、こうした県の取り組みに賛同し「ふくいSDGsパートナー」に登録しました。

また、パートナーへの登録にあたり、県が定める活動テーマに沿って、次のとおりSDGsの達成に貢献していくことを宣言しました。

町では、現在、策定に向けて取り組んでいる第5次美浜町総合振興計画の後期基本計画(計画期間…令和3年～7年)にSDGsの理念や考え方を反映させるとともに、宣言に基づいた取り組みを実行し、持続可能なまちづくりの実現を図っていきます。

集落元気プラン策定に向けた取り組み

町では、住みやすいまちづくり・集落づくりを目的として、各集落が課題解決のために取りまとめる「集落元気プラン」の策定を推進しており、今年度、プランの策定を支援する事業やプランに定めた活動を支援する事業を展開しています。

ここでは、SDGsの達成に向けた「町の宣言⑤」に該当する取り組みを紹介します。



集落元気プラン策定状況

- プラン策定済み 9集落
- プラン策定検討中 9集落

支援事業活用状況

【集落元気プラン策定支援事業】

(補助率 10/10、上限 40万円)

プラン策定のための研修やワークショップ等の実施、講師の招へい等に係る経費を補助します。

- 事業活用 3集落
- 事業活用検討中 2集落

【集落元気プラン活動支援事業】(補助率 8/10)

各集落が策定したプランに基づく活動を実施するために必要となる経費を補助します。

- 事業活用 5集落

支援事業活用事例

【集落元気プラン策定支援事業】



ワークショップの様子

集落元気プランの策定に向けたワークショップを開催し、自分たちの集落が持つ課題や魅力等について意見を交わしました。

【集落元気プラン活動支援事業】

集落の若者が中心となって、ピザ作りを通じて多世代の交流を行うイベントを開催するため、ピザ窯の整備を行いました。

ケーブルテレビの 新プランについて

【お問い合わせ先】
 (料金プランに関すること)
 美方ケーブルネットワーク㈱ ☎ 32-3400
 (工事に関すること)
 町エネルギー政策課(担当・山野) ☎ 32-6716

MMネットでは、町が行うケーブルテレビ施設の更新工事に合わせて、サービスの充実を図るためテレビやインターネットサービスのプラン見直しを行いました。

このたび、新プランの概要と料金が決定しましたのでお知らせします。
 ※新プランの提供は、更新工事が完了した世帯から順次行われます。

各地区の更新工事のスケジュールは、
広報みはま10月号をご覧ください。

テレビサービス

一般世帯向け	視聴できる番組	月額料金(税抜) 〈 〉内はSTB2台目以降の料金
ファミリー (地上波プラン)	地上波(8チャンネル)と「行政チャンネル」 「消防チャンネル」「コミュニティチャンネル」 「お天気チャンネル」が視聴できます。	STB(セットトップボックス)設置不要 1,500円
ライト (BSプラン)	ファミリープランで視聴できる番組のほか、BS 番組(11チャンネル)が視聴できます。	STB(視聴)レンタル 1,800円〈500円〉 STB(録画)レンタル 2,500円〈1,200円〉 STB買い取り 1,800円〈500円〉
デラックス (CSプラン)	ライトプランで視聴できる番組のほか、CS番組 (23チャンネル)が視聴できます。 (現在のデジタル横綱と同じ番組構成)	STB(視聴)レンタル 2,300円〈500円〉 STB(録画)レンタル 3,000円〈1,200円〉 STB買い取り 2,000円〈200円〉

事業所向け	視聴できる番組	月額料金(税抜)
ファミリー (地上波プラン)	一般世帯(ファミリープラン)と同じ番組が視聴 できます。	STB設置不要 1,800円
ライト (BSプラン)	一般世帯(ライトプラン)と同じ番組が視聴でき ます。	STB(視聴)レンタル 2,100円〈500円〉 STB(録画)レンタル 2,800円〈1,200円〉 STB買い取り 2,100円〈500円〉

- ※1 STB(視聴)は視聴機能のみ、STB(録画)は視聴機能と録画機能を有するSTBを指します。
- ※2 年払いや半年払い、大口ユーザーサービスは廃止となります。
- ※3 事業所向けのプランはファミリーとライトのみとなります。
- ※4 現在、新規加入金の無料キャンペーンを実施中です。

インターネットサービス

一般世帯・事業所共通	速度 (ベストエフォート)	月額料金(税抜)	
		テレビ契約あり	テレビ契約なし
光 20 Mプラン (メガ)	(上り・下り)20Mbps	2,900円	3,600円
光 200 Mプラン (グローバルIP1個付与)	(上り・下り)200Mbps	3,500円	4,200円
光 1 Gプラン (メガ、グローバルIP1個付与)	(上り・下り)1Gbps	3,800円	4,500円

※ 月額料金の中にプロバイダー料金が含まれています。

■新プラン移行後の無料プラン廃止について

これまで、地上波(4チャンネル)と「行政チャンネル」「消防チャンネル」のみ無料で視聴できる、「お知らせパック」を設けていましたが、今後の施設の維持管理や将来の技術革新等への積み立てのため、無料のプランを廃止することといたしました。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

令和2年度 町政功労表彰



11月3日に、町政功労表彰式が生涯学習センターなびあすで行われました。式典では、長年にわたり町政の発展に貢献された2名の方に感謝と敬意を表し、表彰状が授与されました。今年度の被表彰者は次のとおりです。

〔自治功労(消防)〕

杉本 元一 氏(宮代) 前列右から2人目

美浜消防団副団長

平成25年4月1日～平成27年3月31日(2年)

美浜消防団団長

平成27年4月1日～平成29年3月31日(2年)

〔体育功労〕

田邊 義郎 氏(久々子) 前列右から3人目

美浜町ボート協会 会長

昭和46年4月1日～現在 (49年)

美浜町ボート協会 常任理事

平成17年4月1日～平成21年3月31日(4年)

美浜町ボート協会 副会長

平成21年4月1日～平成24年3月31日(3年)

美浜町ボート協会 会長

平成24年4月1日～令和2年3月31日(8年)

美浜発電所に関する 住民説明会を開催

町では、説明会当日の質疑応答のほかに、後日、説明会の様子を行政チャンネルで放送し、ご意見やご質問を募集しました。

今月号では、町民の皆さまからいただいた主なご意見等を紹介します。



↑原子力規制庁 西村正美
地域原子力規制総括調整官
(福井担当)

【意見・質問等】
問 配管の損傷が見つかった際の事業者の修理等の対応について、途中で変更される事例があった。原子力発電所の安全面でのように捉えているか。
答 関西電力の説明については、当委員会が適切であるとの判断に至らず、議論していたところで、関西電力が配管を取り換えること等を表明したので、それを受け入れている。引き続き、安全上懸念があることについては、厳正に確認・対応をしていく。

【後日、原子力規制庁より補足】
当該報道に係る波源(津波の発生源)についても考慮した上で、美浜発電所に最も影響のある波源を確認しており、今回の内容は基準津波の選定に影響を与えるものではありません。

- 原子力エネルギーに係る国組織の改編について
- 福島第一原子力発電所事故を踏まえた新しい安全基準について
- 新規制基準に係る美浜発電所3号炉の審査の経緯・結果について
- 重大事故発生時の対策について
- 40年を超える運転についての審査結果について

① 美浜発電所3号炉に関する審査結果について



10月16日に、経済産業省資源エネルギー庁から町に対し、国のエネルギー・原子力政策が示され、美浜発電所3号機の再稼働について、町の理解と協力の要請を受けたことから、町では、町民の皆さまに美浜発電所3号機の安全性と必要性、防災体制等について理解を深めていただくことを目的とした「住民説明会」を10月31日に町生涯学習センターなびあすで開催しました。

説明会には、町民や関係者等約200名の参加があり、下記の内容について、国の関係機関や電力事業者からの説明や質疑応答が行われました。

- ① 美浜発電所3号炉に関する審査結果について(原子力規制庁)
- ② 我が国のエネルギー政策について(経済産業省 資源エネルギー庁)
- ③ 美浜発電所の安全対策について(関西電力株式会社)
- ④ 美浜地域における原子力防災について(内閣府)

【意見・質問等】
問 国では2050年に温室効果ガスの排出量実質ゼロを目標に掲げている。このような中で、原子力発電の重要性が高まっていくと同時に、火力発電を減らすような見通しであるか。
答 火力発電を全て再生エネルギーや原子力に置き換えることは一つの理想であるが、課題はあ



↑経済産業省 資源エネルギー庁
遠藤量太 原子力立地政策室長
原子力広報室長

【説明内容】
● 国のエネルギー情勢(自給率、電気料金、温室効果ガス排出量の推移等)について
● 国のエネルギー基本計画におけるエネルギーミックスの方向性、各発電方法の特徴について
● エネルギーミックスにおいて、2030年の原子力発電比率20〜22%を確保するための原子力発電の役割について
● 美浜3号機をはじめとした原子力発電の安全性、必要性、核燃料サイクル、廃棄物処分等について

② 我が国のエネルギー政策について

問 現状は、火力も含めたエネルギーミックスを進めることとしており、広い視野で排出量実質ゼロを目指していきたい。
答 美浜3号機にも使用済燃料が貯蔵されているが、再稼働すると将来的に燃料プールの収まらなくなるのではないかと懸念されている。国として、乾式貯蔵ができる場所を増やしていくよう全国の自治体に説明していく。
また、青森県六ヶ所村の再処理工場で再処理が進むことに伴い、燃料プールの空き容量が増えるため、核燃料サイクルを進めていく。

美浜発電所の状況について



↑ 関西電力㈱から安全性向上対策の概要について説明を受ける委員

第205回美浜町原子力環境安全監視委員会を開催
 11月4日、第205回美浜町原子力環境安全監視委員会を美浜原子力P Rセンターで開催しました。
 今回の委員会では、美浜発電所の周辺環境への影響等に関する福井県原子力環境安全管理協議会の報告内容を説明したほか、関西電力から美浜発電所3号機の安全性向上対策の概要や重大事故に備えた資機材の保管状況等の説明を受けるとともに、発電所構内において、中央制御室や緊急時対策所、免震事務棟等の現地調査を行いました。
 委員会での主な質疑応答の内容は次のとおりです。

問 中央制御盤がアナログ式から最新のデジタル式に取り替えられたが、万一の事故の際にディスプレイやタッチパネル等の機器の制御は可能なのか。
答 万一、災害や事故が発生した場合においても、電源設備を多重化することにより、制御機器の機能が失われない設計となっている。また、中央制御盤は発電所全体を制御する重要な設備であるため、蓄電池からも電源供給ができる仕組みとなっている。



↑ 中央制御盤の取り替えについて説明を受ける委員

問 美浜発電所3号機の安全性向上対策工事について

本委員会では、今後も国の動向をはじめ、発電所の安全性対策や廃止措置作業等、原子力発電を取り巻く課題等について適宜確認していきます。



↑ 緊急時対策所について質問する委員

問 緊急時対策所の運用について、実際に発電所で事故が起きた状況を想定し、定期的に訓練等を実施しているのか。
答 緊急時対策所では、発電所で事故が起きた状況を想定した訓練を年に1回以上実施し、事故対応に必要な技能の習得や維持向上に努めることとしている。

町では、今回お知らせした「美浜発電所に関する住民説明会」の内容のほか、今年9月に完了した美浜発電所3号機の安全性向上対策工事の概要等について、YouTubeの「[福井県美浜町原子力広報チャンネル](#)」で配信しています。ぜひご覧ください。



QRコード

③ 美浜発電所の安全対策について

【説明内容】

- 新規制基準への適合や自主的な安全性向上のために実施した安全性向上対策工事について
- 重大事故等発生時の対応力の向上について
- 40年を超える運転における設備の健全性について
- 40年を超える運転についての審査結果について



↑ 関西電力㈱ 高島勇人 美浜発電所長

【意見・質問等】
問 心配されるのは設備の経年劣化である。長期間使用した設備について、どのような診断をしているのか。
答 例えば配管であれば、中を通る水の温度や圧力に応じて必要な厚みが決まり、設置の際には余裕のあるものを使用している。必要な厚さを下回ってからはなく、下回る前に早めに交換することで健全性を維持している。

また、平常時に継続的にかかる負荷と事故時等に急激にかかる負荷を評価し、それでも壊れることがない安全性を確認して使用している。

問 津波については、海の津波を想定するが、丹生地区では山津波(山崩れ等)により大量の土砂が一気に押し寄せる現象が発生した記録がある。どのような災害が発生するかわからないため、十分に考えてほしい。

答 新規制基準では、地震や山崩れによる津波にも対応できる防潮堤を整備している。

また、万一、防潮堤を超える津波が来た場合に備え、重要設備がある建屋の扉を水密扉に取り替えて設備を守る対策をしている。

新たな知見についても常に調査し、実施した対策の範囲内かどうかを評価して対応していく。これまで評価したことなく「安全性をたゆまず向上させていく」という考えで取り組んでいきたい。

④ 美浜地域における原子力防災について

【説明内容】

- 原子力防災における内閣府の体制、業務内容について
- 災害時の国、県、市町の対応体制について
- 美浜発電所3号機の重大事故を想定した緊急時対応(要支援者への対応、避難体制、感染症対策等)について



問 災害時の避難先として、おおい町と大野市の2カ所があるが、おおい町は美浜と同時に事故が起きる可能性があり、大野市は偏西風で風下に位置している。多様性を持つて避難先を選定する必要があるのではないか。
答 災害時は、住民の安全が最優先で、被ばくりスクを低減して避難することが重要である。風向き等により避難先方向の汚染が高くなった場合は、経路を変更し、代替の避難先を判断して対応する。避難については、訓練等を通じて修正しながら改善していきたい。



↑ 内閣府 坂内俊洋 参事官(地域防災担当)

問 敦賀半島に原子力災害の制御道路が開通した。旧道は、海岸の浸食が激しく落石も多い道路である。
 今後、旧道については、県道から町道へ移管される計画であるが、防災道路としては2ルート確保すべきであるため、県道として維持していただきたい。

答 住民避難に関連する道路の劣化状況等を常に把握し、緊急時対応に反映すべきと考えている。どのように道路を改良するか、補強すべきかについて、関係自治体と意見を交わして対応を考えていきたい。

町では、今回の説明会のほか、各地区や町議会、町原子力環境安全監視委員会等に対しても説明し、いただいたご意見を踏まえ、再稼働の是非について判断をしていきます。